

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~26週
	第25週	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(47)			(20)			(5)			(9)			(13)			
インフルエンザ	434 0.09																16171
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1130 0.36	16 0.53	9 0.30	▽	8 0.62	3 0.23	▽		1 0.33	△	7 1.17	5 0.83	▽	1 0.13		▽	351
咽頭結膜熱	2481 0.79	43 1.43	30 1.00	▽	23 1.77	13 1.00	▽	3 1.00	1 0.33	▽	16 ◎2.67	14 ◎2.33	▽	1 0.13	2 0.25	△	541
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	9126 2.89	107 3.57	126 4.20	▲	57 4.38	66 5.08	▲	2 0.67	4 1.33	▲	31 ◎5.17	27 ◎4.50	▽	17 2.13	29 3.63	△	3074
感染性胃腸炎	19180 6.07	189 6.30	158 5.27	▼	64 4.92	53 4.08	▼	5 1.67	5 1.67		55 9.17	54 9.00	▼	65 8.13	46 5.75	▼	4605
水痘	1225 0.39	20 0.67	17 0.57	▽	8 0.62	4 0.31	▽	4 1.33	2 0.67	▽	5 0.83	4 0.67	▼	3 0.38	7 0.88	△	381
手足口病	3926 1.24	31 1.03	44 1.47	▲	31 2.38	42 3.23	▲					1 0.17	△		1 0.13	△	403
伝染性紅斑	1116 0.35	35 1.17	26 0.87	▽		3 0.23	△				33 ◎5.50	23 ◎3.83	▽	2 0.25		▽	254
突発性発しん	1717 0.54	29 0.97	20 0.67	▽	7 0.54	3 0.23	▽	1 0.33	1 0.33		9 1.50	11 1.83	▲	12 1.50	5 0.63	▽	408
ヘルパンギーナ	2032 0.64	36 1.20	40 1.33	▲	20 1.54	26 2.00	▲				16 2.67	14 2.33	▽				206
流行性耳下腺炎	609 0.19	5 0.17	3 0.10	▽	3 0.23	3 0.23								2 0.25		▽	78
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	18 0.03																
流行性角結膜炎	651 0.93	4 0.50	5 0.63	▲	3 0.75	1 0.25	▽		1 1.00	△		2 2.00	△	1 0.50	1 0.50		58
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	30 0.06																20
クラミジア肺炎	1 0.00																
マイコプラズマ肺炎	60 0.13	3 0.30	3 0.30		2 0.50	1 0.25	▽				1 0.50		▽		2 0.67	△	68
細菌性髄膜炎	8 0.02		1 0.10	△		1 0.25	△										6
無菌性髄膜炎	21 0.04	1 0.10		▽										1 0.33		▽	4

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1				
腸管出血性大腸菌感染症	患者	1				型別: O26 VT1
レジオネラ症	患者			1		
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	2				ワクチン接種歴: 3回 1人、不明 1人。
水痘(入院例)	患者		1			
破傷風	患者			1		
百日咳	患者	5				※内、第25週追加報告 3人。 ワクチン接種歴: 4回 4人、不明: 1人。小児 5人。

<通信欄>

※定点医療機関数が変更になっています。(インフルエンザ定点: 48→47)

※トピックスで、手足口病、ヘルパンギーナについて掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ															
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1	4	3		1										9
咽頭結膜熱	1	8	11	5	2	2		1							30
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	3	12	13	19	18	12	10	7	6	21			3
126															
感染性胃腸炎	1	9	22	12	15	21	18	14	6	9	7	18	2	4	158
水痘	1		3	1			3	4	2	3					17
手足口病		1	12	15	10	3	1	1		1					44
伝染性紅斑		1	2	1	1	3	3	4	7	2		2			26
突発性発しん			5	14	1										20
ヘルパンギーナ		4	14	9	4	5	2	2							40
流行性耳下腺炎						1	1	1							3

< 平成30年5月 月報 >

2018年6月27日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～5月
	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 14	24	7	13	5	6	2	3		2	98
	定点当り 1.40	2.40	1.75	3.25	5.00	6.00	1.00	1.50		0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 11	6	4	2	3	1	3	2	1	1	45
	定点当り 1.10	0.60	1.00	0.50	3.00	1.00	1.50	1.00	0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数 3	3	1	1				1	2	1	14
	定点当り 0.30	0.30	0.25	0.25				0.50	0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数 2	5	2	2				1		2	14
	定点当り 0.20	0.50	0.50	0.50				0.50		0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 11	7		2	2			1	9	4	36
	定点当り 1.10	0.70		0.50	2.00			0.50	3.00	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 18	13	11	5	1	2		1	6	5	85
	定点当り 1.80	1.30	2.75	1.25	1.00	2.00		0.50	2.00	1.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

<トピックス>

夏の感染症に注意しましょう

夏季は例年、手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱など、「夏かぜ」と呼ばれる感染症が流行します。
手足口病、ヘルパンギーナの山形県平均の定点当たり報告数は、4週連続で増加しています。

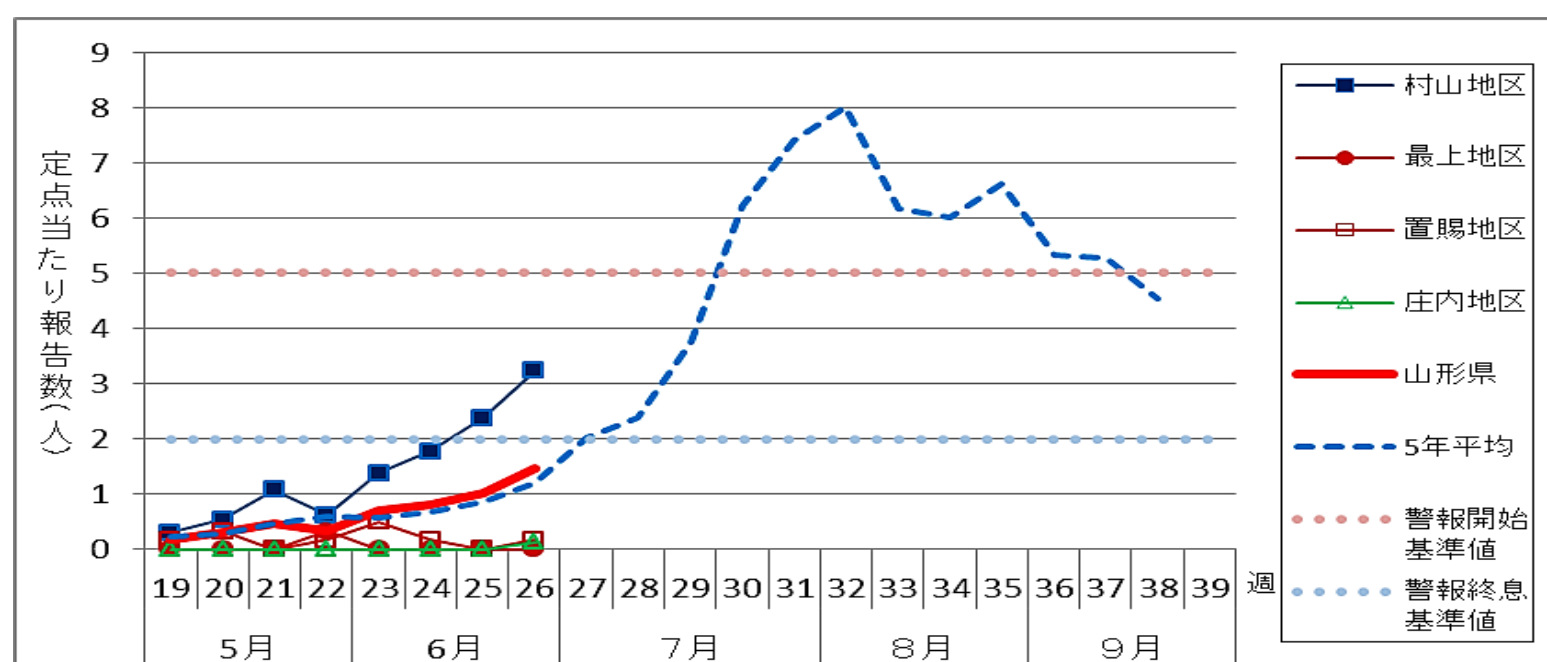
手足口病

エンテロウイルス(コクサッキーウイルスA16、エンテロウイルスA71など)による感染症で、4歳位までの幼児を中心に、夏に流行します。

主に口の中や、手のひら、足のうらなどに水疱性の発疹がみられ、熱が出ることもありますが、高熱にはならないことがほとんどです。

- ・警報開始基準値:5人 警報終息基準値:2人
- ・第26週 定点当たり報告数(山形県:1.47人)
村山:3.23人 最上:0.00人 置賜:0.17人 庄内:0.13人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



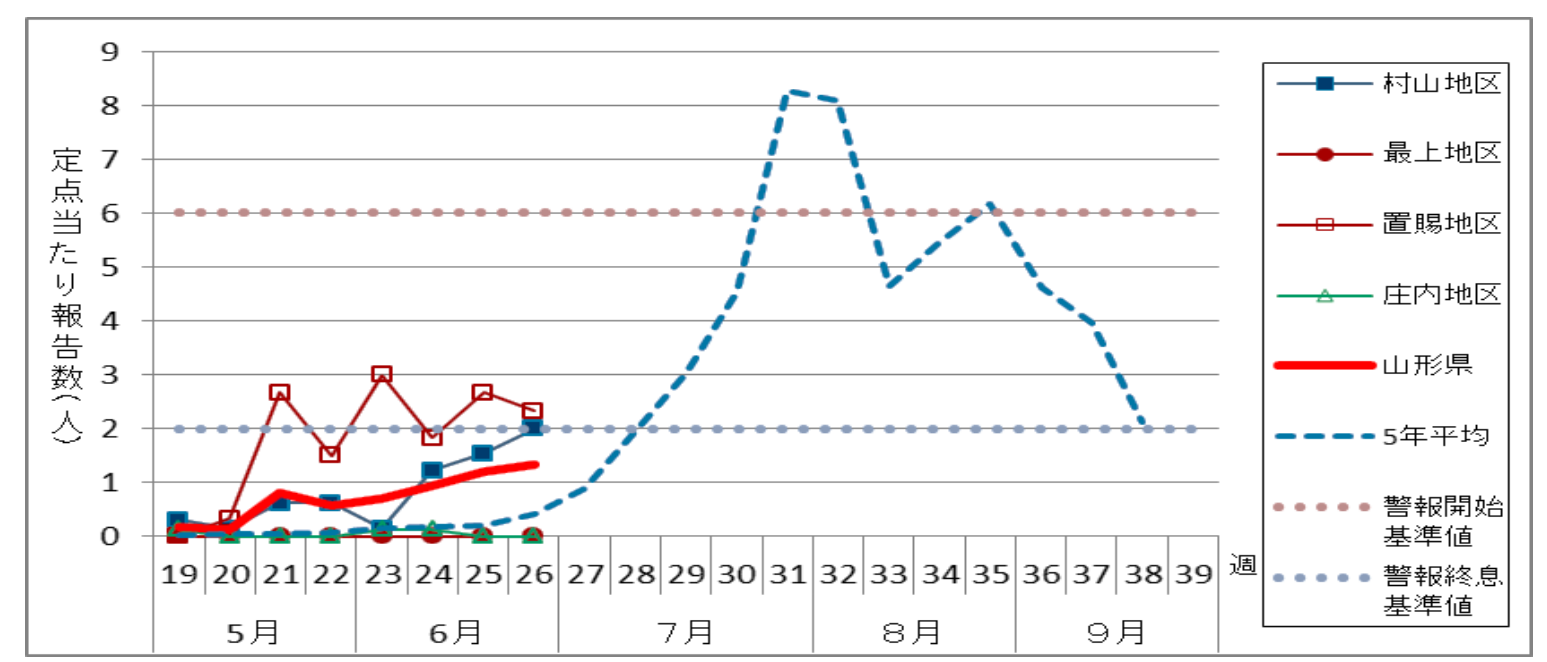
ヘルパンギーナ

エンテロウイルス(コクサッキーウイルスA群など)による感染症で、5歳位までの幼児を中心に、夏に流行します。

突然の高熱で発症し、続いてのどの痛み、のどの奥に水疱が現れます。のどの奥の水疱は、やがて破れて痛みを伴います。

- ・警報開始基準値:6人 警報終息基準値:2人
- ・第26週 定点当たり報告数(山形県:1.33人)
村山:2.00人 最上:0.00人 置賜:2.33人 庄内:0.00人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



手足口病、ヘルパンギーナの治療は、対症療法が中心となります。口腔内の痛みにより、水分がとりにくい場合もありますので、発熱時の脱水に注意しましょう。
予防法としては、患者との濃厚な接触を避けることと、うがい、手洗いを徹底することが大切です。回復後も、便中には2～4週間にわたり、ウイルスが排泄されますので、おむつ交換や、トイレの後には特に入念に手を洗いましょう。

しっかり手洗い!



おむつ替えの後は入念に!

